

スタンダードチャータード、回避可能な視覚障害撲滅に向けて エリザベス女王即位 60 周年記念慈善団体と提携

クイーン・エリザベス・ダイヤモンドジュビリー・トラスト(以下、トラスト)と国際的な金融グループ、スタンダードチャータード(本店:ロンドン、最高経営責任者:ピーター・サンズ。以下、当行)は、回避可能な視覚障害撲滅プログラムの力強い前進に向けて戦略的パートナーシップを結ぶことで合意し、10月10日にロンドンにて発表いたしました。

世界における失明の80%は、予防または治療により回避可能です。10月10日の世界視力デーから開始するトラストとのパートナーシップは、2020年までに回避可能な視覚障害の根絶を目指すグローバルキャンペーン「VISION2020」の前進に大きく貢献するものです。

トラストは、2011年の英連邦首脳会議でエリザベス女王即位60周年を記念して設立された慈善団体です。回避可能な視覚障害撲滅に向けたチャリティプログラム、Seeing is Believing を過去10年にわたって推進してきた当行はトラストを支援します。このパートナーシップにより、有効性が証明されている失明の予防・治療を提供する意欲的なプログラムがトラストを通して英連邦全体で展開されます。その資金として当行はトラストへ2千万米ドルを寄付します。これは民間企業からのトラストへの寄付としては過去最高額となります。

トラストと当行は、回避可能な視覚障害の2大原因である、失明に至るトラコーマと未熟児網膜症(ROP)の撲滅に力をいれたいります。

- **失明に至るトラコーマ撲滅プログラム:** トラコーマは、世界の伝染性疾患による失明の最大原因です。なおざりにされてきた熱帯病のひとつであるトラコーマは、症状が徐々に悪化し、ひどい場合は慢性的な痛みを伴いながら失明に至ります。世界では1億1千万人がトラコーマが風土病となっている地域に住み、進行期のトラコーマ患者は少なくとも460万人に達します。英連邦全域を対象とするトラストのプログラムの中で、トラストとスタンダードチャータードが結んだ本パートナーシップによる支援対象は、ケニア・マラウイ・モザンビーク・ウガンダ・ナイジェリアにおけるトラコーマ撲滅活動です。世界の中で、トラコーマ流行地域に居住する人たちの77%が暮らすアフリカでは、2千8百万人(推計)がアクティブトラコーマ感染に苦しんでいます。トラストと当行は、217の地区において1千7百万人の患者を救済することを最終的な目標としています。
- **未熟児網膜症撲滅プログラム:** 未熟児網膜症(ROP)は完全に回避できる、治療可能な症状です。これは、早産児が生後数日から数週間にかけて「準最適」新生児ケアを受ける段階で感染症や酸素過剰投与によって引き起こされる疾患です。世界の早期出産件数は年間1千5百万件と推計されています。現在、小児失明症の大きな原因である未熟児網膜症が、新生児ケアを提供する医療施設が増えてきた新興国で増えつつあります。トラストが推進するプログラムは、早産件数が世界最多のインドにおける未熟児網膜症撲滅のための国家プロジェクト推進を支援します。

トラストと当行のパートナーシップには、英連邦全域における眼科医療技術の向上と保健制度の充実を目的とする「フェローシップ・リサーチ・テクノロジープログラム」への支援も含まれています。これは、農村・辺地の患者が負担する治療費の大幅引き下げにつながる革新的な眼科治療機器の研究開発を促進するためのプログラムです。

トラスト評議委員会議長を務めるジョン・メージャー元英首相は次のように述べています。

「トラストがスタンダードチャータードと、回避可能な視覚障害の撲滅という共通のキャンペーンにおけるパートナーシップを結んだことを大変嬉しく思います。スタンダードチャータードからいただいた惜しみな

「い支援は、一部の最貧国において進行中の回避可能な視覚障害の撲滅に向けたキャンペーンの、飛躍的な前進につながると確信しています」

「クイーン・エリザベス・ダイヤモンドジュビリー・トラストは、女王陛下即位 60 周年を記念する英連邦の陛下への永遠の尊敬のしるしとして設立されました。このたびのパートナーシップはトラストの設立目的を具体化するものです。スタンダードチャータードには最大規模の惜しみない寄付をいただき、深く感謝をするとともに、同行が過去 10 年にわたり、目の健康に関する問題の解決に向けて示してきたリーダーシップに深く敬意を表します。さらに、同行がこれまでに蓄積されてきた問題解決のための知見をトラストが共有できることは心強い限りです。トラストは、問題の正確な把握と効果的な支援策に必要な資金の提供、眼科医療分野の代表的な専門家との協力を通して、回避可能な視覚障害に苦しむ人びとに寄り添い、それらの人びとを苦しみから救う解決策を、女王陛下の名にかけて世界中から探し出す努力を続けてまいります」

スタンダードチャータードのジョン・ピース会長は次のように述べています。

「視力という賜物について普段意識をする人はほとんどいません。しかし、当行が事業を展開する諸国、そして世界各地には、治療可能な疾患であるにも関わらず治療を受けることができずに失明する人びとが大勢います。当行は、これらの人々を窮状から救うための活動を 10 年前から続けています」

「Seeing is Believing を通した支援の実績は当行の誇りです。また、トラストを通して、より多くの専門家やパートナーと手を携えてさらに大きな活動を展開できることを名誉に思います。トラストのプログラムが回避可能な視覚障害の撲滅のために革命的な役割を果たしてくれると確信しています。トラストを支援するとともに、アイケアの重要性に対する世界の認識が高まることを強く望んでいます」

国際失明予防機関(IAPB)の CEO、ピーター・アクランド氏は次のように述べています。

「IAPB は、クイーン・エリザベス・ダイヤモンドジュビリー・トラストとスタンダードチャータードという目の健康向上運動の分野における主要組織間のパートナーシップの早期実現に貢献できたことをうれしく思います。このたびのパートナーシップ締結は、回避可能な視覚障害の撲滅の推進に欠かせない協力体制の拡大という我々の目標と合致する、非常に大きな出来事です」

トラストは今後 5 年間、アイケア対策を専門とする非政府機関(NGO)と連携して、支援プログラムを実施していきます。

クイーン・エリザベス・ダイヤモンドジュビリー・トラストに関するお問い合わせ先は下記の通りです。

Brunswick
Richard Meredith / Ben Fry
+44 20 7404 5959
qedjt@brunswickgroup.com

本件に関するスタンダードチャータードへのお問い合わせは下記にて承ります。

スタンダードチャータード銀行
コーポレート・アフェアーズ部
Tel: 03-5511-1245 / Fax: 03-5511-9311
CA.japan@sc.com

クイーン・エリザベス・ダイヤモンドジュブリー・トラストについて

クイーン・エリザベス・ダイヤモンドジュブリー・トラスト(The Queen Elizabeth Diamond Jubilee Trust)は、エリザベス女王即位 60 周年を記念して 2012 年に設立された慈善団体です。トラストは、英連邦の生活向上を目指すことを設立趣意とし、政府・団体・企業・民間グループ・個人からの寄付によって運営されます。具体的には、英連邦全域を対象とする、ヤングリーダー育成、回避可能な視覚障害の撲滅をテーマとしており、それぞれに関連する支援プログラムを実施してまいります。トラストが掲げるミッションが英連邦全体の陛下への永遠の尊敬のしるしとして末永く記憶され、思い出されることを願っています。トラストに関する詳しい情報は、トラストのホームページ(www.jubileetribute.org)をご覧ください。

スタンダードチャータード銀行-アジア・アフリカ・中東地域における先駆者として

スタンダードチャータードはロンドン証券取引所、香港証券取引所、ムンバイ証券取引所、ならびにインド国立証券取引所に上場している国際的な金融グループです。世界で最もダイナミックな市場—アジア・アフリカ・中東地域において150年以上の歴史を誇り、グループの収益の約9割は、それらの地域で創出されています。また、世界70カ国以上で1,700余のオフィスを有する当行は、国際的なキャリア構築の機会を総勢88,000余名の行員に対して生み出しています。当行グループでは、長期的視野に立った持続性のある事業構築に取り組む傍ら、高いレベルでのコーポレートガバナンスを保持すると共に、社会的責任を果たし、環境保護と多様性のある人材育成にも力を注ぐことで、世界中の信頼を得ています。私たちのブランドプロミスである「Here for good」は、このような当行の伝統と企業価値を反映しています。

日本におけるスタンダードチャータード銀行について

日本におけるスタンダードチャータード銀行の歴史は、横浜に初めて駐在員事務所を開設した1880年にさかのぼり、今年で133年目を迎えます。アジア・アフリカ・中東地域で投資事業を展開する日本の企業法人・金融法人のお客様向けに、多岐にわたる金融サービスを提供し、さらなる成長を続けています。

スタンダードチャータードグループHP(英語) www.standardchartered.com

スタンダードチャータードグループfacebook(英語) www.facebook.com/standardchartered

スタンダードチャータードグループTwitterアカウント @StanChart

スタンダードチャータード銀行在日支店HP(日本語) www.standardchartered.co.jp

スタンダードチャータード銀行在日支店 HP(英語) www.standardchartered.co.jp/en/index.html

国際失明予防機関(IAPB)について

国際失明予防機関(英語名 International Agency for the Prevention of Blindness=IAPB)は、回避可能な視覚障害の撲滅に向けた国際的な活動の調整を行う機関です。IAPB のミッションは、持続可能なアイケア・プログラムの立案・開発・実行を促進するために世界中の政府・非政府機関の力を結集し、回避可能な失明・視覚障害の主要原因を撲滅することです。IAPB は、回避可能な視覚障害を 2020 年までに撲滅することを目標とする VISION2020: The Right to Sight(ビジョン 2020)を、世界保健機関(WHO)と共同イニシアティブとして推進しています。

「回避可能な視覚障害」は、経済性に優れた既存の医療手法による治療または予防が可能な視覚障害を指すと定義されています。視覚障害の原因は様々です。VISION2020 は、その中でも全世界を通して失明防止効果が最も高いとされる回復可能な視覚障害を対象としています。

VISION 2020 に関する詳しい情報は、以下のサイトをご覧ください。

<http://www.iapb.org/vision-2020>